



タイのライブエンタメ市場

北陸銀行 バンコク駐在員事務所
所長

湧川 裕明



2023年12月オープンのライブ会場「UOB LIVE」
(ショッピングモールEMPSPHERE6F Perfume公演会場)

1. はじめに

タイのライブエンタメ市場は、コロナ禍で壊滅的な打撃を受けましたが、コロナの収束に伴い息を吹き返し、現在は活況を呈しています。

以前はアーティストの公演という点、アルバム発売に伴うプロモーションの意味合いが大きかったのですが、サブスク音楽配信や無料動画配信の浸透でCDの売上減少が続き、ライブそのものが重要なコンテンツ、収益の源泉になっています。

SNSの普及で世界のどこにいてもアーティストの情報に手軽にアクセスできるようになり、地域による情報格差が低くなったこともあって、アジア圏における海外アーティストの認知度は大きく向上してきたものと思われます。

そこで今回は、タイをはじめとする東南アジアのエンタメ事情についてまとめてみました。

2. シンガポールとタイが二大公演地

東南アジアのなかでも、公演地として多く選ばれているのは、シンガポールとタイです(表1)。両

国では、ブルーノ・マーズやコールドプレイ、エド・シーランなど海外有名アーティストのコンサートが開催されており、多くの日本人アーティストもツアーを実施しています。

公演地の選定にあたっては、その国での人気度や現地プロモーターとの関係性、適切な会場の有無、確保の可否などさまざまな要素が絡むと思われますが、東南アジアの他の都市に比べ、両国には人口の多さ、会場施設を含めた都市インフラの充実度といったイベント誘致のための基本的な条件を備えていると考えられます。

3. チケット料金は日本より高い

チケット料金を比較してみたのが表2です。同一アーティストの開催地毎の比較では、高価格帯のチケット料金は日本より高い傾向にあると言えます。コールドプレイのタイ公演で最も高いチケットはスタンド席ステージ真正面のほんの数席分ですが、日本公演の特典グッズ付きチケットの2倍以上の価格設定となっています。東南アジア諸国の力強い経済成長がエンタメビジネスの世界からも感じられます。

表1 主要アーティストのアジアツアー開催国

	アーティスト	ツアー	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	(台湾)	(香港)	(韓国)	(中国)	(日本)
洋楽系	テイラー・スウィフト	2024.3		○								○
	ブルーノ・マーズ	2024.1-4	○	○								○
	コールドプレイ	2023.11-2024.2	○	○	○	○	○	○				○
	エド・シーラン	2024.1-2	○	○	○	○	○	○				○
邦楽系	ONE OK ROCK	2023.9-12	○	○		○	○	○	○			
	Ado	2024.2	○		○	○		○	○	○		
	藤井 風	2023.6-7	○		○	○		○	○	○		
	RADWIMPS	2024.5	○	○			○	○	○	○		
	BABYMETAL	2023.5-6	○		○	○		○	○			
	King Gnu	2024.4		○				○		○	○	
	YOASOBI	2023.12-2024.1		○	○	○		○	○	○		
Perfume	2024.6-7	○					○	○		○		

出所：アーティスト公式サイトなどから筆者作成



4. 「スウィフトノミクス」はいずれタイにも?

表1にあるとおり、米人気歌手テイラー・スウィフトの公演は、東南アジアではシンガポールのみで開催されています。

2024年3月、テイラーはシンガポールで6日間にわたる公演を行い、延べ33万人を動員しました。テイラーの2023年の全米ツアーは「米国内総生産(GDP)の押し上げに貢献した」と、ウォールストリートジャーナルやブルームバーグなどアメリカの多くのメディアが取り上げ、その影響力から「スウィフトノミクス」と言われるほどです。2月に行われた日本公演の経済効果は341億円と言われており、シンガポール公演でのスウィフトノミクスは、1～3月のGDP0.2%に相当する3～4億シンガポールドル(約330～440億円)とのレポート(DBSグループ・リサーチ)もでています。

以前は洋楽アーティストのアジア公演といえば日本一国との印象でしたが、他のアジア諸国の経済力の高まりやSNSの普及によって、邦楽系アーティストも含めて東南アジア地域がツアーのターゲットとしてすっかり定着した感があります。

このなかで、タイはシンガポールに次ぐ公演地となっており、近い将来、テイラーのタイ公演が実現するかもしれません。そうなれば、かなりの経済効果が期待できることでしょう。



5. アーティスト招聘に政府が関与

前述したとおり、テイラーのような人気アーティストの公演招聘は、その国に大きな経済効果をもたらします。テイラーのシンガポール公演を巡っては、「シンガポール政府が東南アジア内の独占公演を誘致するために、主催者側に数百万ドルの補助金を支払った」として、タイのセター首相やフィリピンの議員から批判を受けました。しかし、シンガポール独占公演となったことで、近隣諸国から大勢の観客を呼びこみ、宿泊、飲食、観光業が潤う結果となっています。

一方、タイでは、日本では定番の夏フェスとなった「サマーソニック」の海外公演が今年8月に開催されます。3月の公式記者会見はタイ政府庁舎で行われ、



サマーソニック・バンコク2024 告知

セター首相が出席するなど、国を挙げての取り組みとなっています。

このように東南アジアでは、ライブ公演は経済を潤すものとして政府が関与するまでになっており、集客が期待できるアーティストの公演招致合戦が今後ますます激しくなっていくことが予想されます。



6. おわりに

東南アジアのライブエンタメ市場は、アーティストのみならず政府にとっても重要なマーケットとなっています。有力プロモーターの活躍もあり、開催地域はさらに広がる可能性があります。

また邦楽系アーティストにとっては、円安が海外公演を企画するモチベーションとなり、何かと規制・リスクが心配される中国を避けて、東南アジアツアーを開催する機会がさらに増えていくかもしれません。

日本は、タイ向けの国別投資額で中国のみならず台湾や韓国にも抜かれましたが、ライブエンタメのようなコンテンツビジネスにおいては、邦楽系アーティストが存在感を高めていける可能性を秘めています。

表2 主要アーティストの公演チケット料金

アーティスト	開催地	チケット料金(現地通貨)		チケット料金(円換算)	
		最低	最高	最低	最高
テイラー・スウィフト	シンガポール	108.00 \$ドル	~ 348.00 \$ドル	12,455 円	~ 40,134 円
	日本	14,800 円	~ 30,000 円	14,800 円	~ 30,000 円
コールドプレイ	タイ	1,800 バーツ	~ 28,300 バーツ	7,632 円	~ 119,992 円
	シンガポール	68.00 \$ドル	~ 298.00 \$ドル	7,842 円	~ 34,368 円
Perfume	日本	12,000 円	~ 25,000 円	12,000 円	~ 25,000 円
	香港	799.00 HKドル	~ 999.00 HKドル	16,019 円	~ 20,029 円
	タイ	2,800 バーツ	~ 4,300 バーツ	11,872 円	~ 18,232 円
	日本	10,800 円	~ 15,000 円	10,800 円	~ 15,000 円

出所：アーティスト公式サイトなどから筆者作成(換算レートは2024年4月30日時点の銀行間相場を参考)